



小城多久地区 中学校総合体育大会 結果

○軟式野球競技 **優勝**

第1試合 三日月・牛津・芦刈 vs 東原彦舎 9－2（5回コールド）勝利
第2試合 三日月・牛津・芦刈 vs 小城 6－2勝利

○柔道競技

個人戦男子55kg級 **優勝** 9年 荒巻 皇成さん
個人戦男子66kg級 **第3位** 9年 木塚 大愛さん、8年 辻 大吾さん
個人戦女子70kg超級 **準優勝** 8年 森永 南優さん

Congratulations!



○女子ソフトテニス競技

団体戦 惜敗
個人戦 ベスト8 8年 鹿江 星菜さん、高木 心春さんペア

○剣道競技

個人戦 ベスト16 8年 水田 遼さん

○サッカー競技

惜敗

○女子バスケットボール競技

惜敗

○女子バレーボール競技

惜敗

6/14 「不審者対応避難訓練」

本校では、災害発生時や非常事態において児童生徒の生命を守るために、毎年3回の避難訓練を実施しています。今回は正面玄関に不審者が現れたという想定で訓練を行いました。覚知した職員が連携を取りながら対応し、刺股で動きを制していきました。児童生徒は緊急事態を知らせる放送を聞き、教室を施設して待機しました。その後体育館に移動し、小城警察署の方からお話をいただきました。



6/26 「5年大豆作り体験学習講話」

5年生は、総合的な学習の時間で「大豆」をテーマにした学習を進めています。この日は、JA芦刈支部の藤川さん・吉武さん・古賀さんをお招きして、大豆についてプレゼンテーションをしていただきました。この講話をもとに、今後は大豆栽培にチャレンジします。今回が初めの試みです。7月12日に種まきを行い、上手に育てることができれば、9月に枝豆収穫、11月には豆腐作りを行う予定です。



6/26 「4年海苔体験学習」

4年生は、総合的な学習の時間で有明海の特産物「ノリ」をテーマにした学習を進めています。この日は、芦刈漁協青年部の皆さんを講師として海苔作りについて学びました。実際に使われている海苔を摘む機械や海苔網を持ってきていただき、海苔摘み体験をしました。その後は、各グループに分かれて質問をしました。どのグループも積極的に質問していました。



6/26 「7年ティッシュカバー製作」

7年生は、家庭科で「ティッシュカバー」を製作しています。この日は、ボランティアの方々に製作のサポートをしていただきました。5・6年生の時に手縫いやミシンの使い方を学習していますが、一人一人にきめ細やかに支援・指導をしていただきました。7月3日にもご指導いただきました。大変お忙しい中、ご協力ありがとうございました。



7/4 人権コンサート「うまれてきてくれて ありがとう」

この日は小学部・中学部合同で「人権コンサート」を行いました。講師のmonさん（高橋亜美さん）は、自身の生い立ちや外国籍という立場を理由に小学生時代に受けたいじめや差別体験について語りながら、子どもたちに心からのメッセージを贈ってくださいました。また、体育館に響き渡る素敵な歌声は、その歌詞とともに子どもたちの心に響いていたと思います。monさんが紡ぐ魂の言葉をしっかりと受け止めていた子どもたち。体育館は優しい空気に包まれました。涙しながら聞き入る先生方の姿もありました。ホントに素敵な時間でした。

monさんから子どもたちへの「生きることがつらいと思った時に、顔が見えないネット上の人間ではなく、近くにいる信頼できる大人に頼って欲しい。」というメッセージは、子どもたちにとって身近な存在である私たち大人もしっかりと受け止める必要があると感じました。また、自分の思いを上手く表現できない子どもからのSOSをしっかりキャッチできるように、子どもたちとしっかり向き合っていきたいと思います。



「平和集会」 小学部6/12 中学部6/21

戦後79年を迎える今年も、小学部・中学部それぞれで「平和集会」を行いました。

小学部では、担当の大坪先生から太平洋戦についての話をいただきました。戦争によって多くの方が亡くなったこと、広島と長崎に落とされた原子爆弾によって一瞬にして数多くの命が奪われたことなどについて説明されました。低・中学年の子どもたちにとっては、十分に理解することは難しいと思いますが、この時期に戦争の悲惨さ、平和の尊さについて考える機会を今後も大切にしていきたいです。

中学部は、6月23日の「沖縄慰霊の日」を前に、太平洋戦争で唯一の地上戦が行われた沖縄戦について取り上げました。実行委員は、立候補した9年生です。事前アンケートで尋ねた自分がイメージする「平和」を言葉にしたものが紹介されました。その後、実行委員より民間人を含めた当時の沖縄県民の約1/4が亡くなるという悲惨な沖縄戦の様子が伝えられました。

校長先生からは、校長室に置かれている特攻隊員の写真と手紙についての話がありました。この方は芦刈出身の第112振武隊「中野繁利」少尉（18歳）で、後輩に向けた手紙が残されています。出撃の際は、ふるさと佐賀の上空を通過して戦地に向かわれたということです。自分たちと同じ年頃の先輩が特攻隊員として亡くなられたことを知り、身近に感じにくい戦争が決して自分たちに関係ないことではないと感じたのではないのでしょうか。

小学部平和集会



中学部平和集会

